

## 海老名災害ボランティアネットワーク 平成30年度 第5回(9月)定例会、議事録

開催日時：2018年9月6日(木) 19時～21時、会場：海老名市総合福祉会館、第3娯楽室  
(出席者) 小澤、水本、野本、山下、野中、杉下、三宅、中村、松井、佐々木、山本、福田(議事録)  
計 12名出席

### (1) 各担当より報告

会計より：2018年8月末日の残金 230,776円 (7月末に比べて10,901円減少した)  
(会費納入者) 個人会員22名、賛助会員12名 団体会員 3団体 (7月末と変わらず)

### (2) 活動報告(8月定例会以降～9月定例会まで)

- ① 8月3日(金)ビックレスキューかながわ、第2回全体会議、会場：海老名市役所 401 会議室  
出席予定：福田、水本、佐々木、内容：「ビックレスキューかながわ」防災訓練の最終的な確認
- ② 8月4日(土)海老名サンカンフェスタ(3館)(福祉会館は「ボランティアフェスタ」)  
会場：海老名市総合福祉会館、時間：10時～15時 内容：「水・食糧の備蓄」と「災害時のトイレの使い方」の展示・説明、【準備】9時集合・準備作業開始、15時～片付け。  
【出席】水本、福田、野本、星野、小澤、中村、大野、三宅、杉下 合計9名
- ③ 西日本豪雨災害被災地支援ボランティアバス、個人負担がある会員は個人負担軽減 4000円  
・「神奈川311ネットワーク」第2便8月7日(火)夜～9日(木)早朝、【出席】星野  
岡山県倉敷市、感想：あちらこちらにゴミの山で、継続的な作業が必要だと感じた。  
・自動車で乗り合わせ(5人)：広島県坂町、呉市、8月13～19日、【出席】山本、  
(感想)土砂崩れ(臭気を発生)、重機が入れない場所で、ボランティアが泥だし作業を担当。
- ④ 8月10日(金)海老名防災3者定例会、ビックレスキューへの詳細  
午前9時～、会場：海老名市社協、【出席】福田、水本、佐々木、野中
- ⑤ 8月14日(火)海老名防災3者定例会、詳細を調整、会場：海老名市社協、【出席】福田
- ⑥ 8月22日～26日、神奈川災ボラ情報訓練  
22日：海老名災ボラからの支援要請をメール発信(看護師、通訳などの派遣要請)  
26日：神奈川災ボラよりマッチング結果のメールが入る。日本赤十字社より看護師2名派遣可、  
英語通訳：横須賀災ボラ、レスキューバイク各1名可、中国語通訳：川崎災ボラより1名派遣可
- ⑦ 8月24日(金)午後1時30分～、ビックレスキュー会場へ資機材・書類などを搬入  
【出席】山下、中村、佐々木、小澤、石橋、福田、計6名
- ⑧ 8月26日(日)8時30分～12時、「ビックレスキューかながわ」の当日  
会場：神奈川県立相模三川公園内、運営スタッフの多くは福祉会館と会場を車で移動  
【出席】橋本、福田、水本、三宅、中村、野本、佐々木、星野、小澤、松井、山下、山本、吉野、  
野中、石橋 計15名。感想を出しあった(後日まとめを作成)。今後、社協と共に討論し、  
マニュアルの見直しへつなげる予定。(⇒社協の8月26日の報告書を参照してください。)
- ⑨ 8月28日(火)18時30分～神奈川災ボラ第1回運営委員会  
【課題別運営委員会】広報、講座、図上訓練、防災教育、支援室、避難者支援など【出席】福田
- ⑩ 9月1日(土)九都県市合同総合防災訓練：中央会場は川崎市扇島【出席】なし。

### (3) 今後の予定及び事業内容の検討

- ① 9月11日(火)10時~11時、イオン黄色いレシートキャンペーン  
【出席】水本、中村、舘、三宅、小澤
- ② 9月14日(金)13時~15時、海老名ボランティア連絡協議会、定例会  
会場：海老名市総合福祉会館、出席予定：福田
- ③ 9月17日(月、祝日)第7回ネッツマルシェ開催：テーマは「防災・防犯」、舘さんを支援  
10時~15時、舘登志子さん(災ボラ会員)が災害食の作り方などを展示・説明する。舘さんを支援する有志の会員(小澤、野中)が出席。災ボラの事業ではないのですが、見学に行ける方はどうぞ。
- ④ 9月20日(木)9時~海老名防災三者定例会 会場：海老名市社協  
会場は海老名市社協、テーマは8月26日の反省、今後の方針、【出席】福田
- ⑤ 10月1日(土)10時~14時、あやせWAまつり(さがみ生活クラブ主催)への資機材貸出  
上記イベント開催で災ボラ会員(三宅さん)から、展示用資機材の貸出要望があり、了解しました。災ボラの事業ではないのですが、見学に行ける方はどうぞ。
- ⑥ 10月18日(木)13時~15時、ある企業の新人研修で福祉が防災をテーマの一つにしたい  
場所：ホテル大蔵の会議室、海老名社協にその企業から体験型講座の要請があり、社協では福祉と防災の2つの体験型講習の企画提案を行った。その企業がどちらを選択するか回答を待っている。
- ⑦ 11月25日(日)第9回海老名「ふれあい農業まつり」への参加について  
昨年、災ボラとしては「農業まつり」に初めて参加したが、昨年の災ボラのテントの位置は参加者の動線から離れていた。今年の配置は昨年と同じであったので、場所の移動を実行委員会と交渉して欲しいということになった。⇒9月11日にJAさがみの「ふれあい農業まつり」実行委員会と交渉した。

### (4) その他

- ① 海老名市社協より、平成30年度の賛助会員加入についてのお願い  
災ボラは賛助会員(1口年額1000円)。平成30年度も昨年同様5口(5000円)と決定。
- ② 自治会主催の防災訓練の支援について：各自治会の予定を聴く ⇒ 時間がないので省略  
⇒災ボラの役員(代表、副代表など)が各自治会と話し合っ、災ボラの参加を交渉する。  
(サンパルク650自治会、東柏ヶ谷1・2丁目自治会、上今泉2丁目、海老名コーポラスなど)
- ③ 体験型講座：防災・減災訓練の実施 ⇒ 海老名災ボラの重要な事業として実施してきたので、今年も継続する。実施時期は今年の11月~12月とした。テーマについては、災害時トイレ、食糧と水の備蓄、家具の固定~など、従来の科目を軸に検討する。
- ④ 災害図上訓練(DIG)の実施：(数年前には、災ボラ会員のみを対象に実施したことがある)  
今年は災ボラ会員だけに限定せず、広く市民にも呼び掛けて実施することになった。講師は、全国各地で災害図上訓練の講師を務めている中村敏一さん(災ボラ会員)。訓練の詳細・準備は中村さんに依頼。実施時期は12月9日(日)と決まった。⇒12月8日(土)に変更となった。(議事録外で説明する)

次回：10月4日(木)19時~21時、総合福祉会館、第3娛樂室(1階)

次々回：11月8日(木)19時~21時、総合福祉会館、第3娛樂室(1階)

以上

## 〈 9月定例会終了後に、確定したスケジュールについて 〉

(1) 自治会の防災訓練への支援と「家庭で出来る防災・減災方法のPR」(展示と説明)

### ① 11月4日(日) 東柏ヶ谷1・2丁目自治会の自主防災訓練：プロジェクトリーダー水本さん

同自治会の防災訓練には、昨年、初めて参加した。昨年は柏ヶ谷コミセンの隣の公園で実施し、災ボラは、食糧の備蓄、災害時トイレの使い方を、展示と説明を行なった。今年については柏ヶ谷コミセン内室内なので、講演が中心となる。水本副代表が交渉した結果、災ボラは15~20分で「災害時のトイレの使い方」について講演することになった。室内でさまざまな災害食の展示などを行う予定です。

### ② 11月上旬~中旬の(土曜日か日曜日) サンパルク650自治会の自主防災訓練

昨年に引き続き、同自治会の訓練に参加する。科目及び資機材の提供については災ボラと協議する。

### ③ 12月2日(日) 上今泉連合自治会(1~6丁目) 主催のコミセン祭りへの参加(防災PR)

上今泉2丁目自治会長の星野さん(災ボラ会員)と話した結果、2丁目自治会主催の自主防災訓練への参加者は20名くらいと少ないので、12月2日の上今泉連合自治会が主催する上今泉コミセン祭り(昨年の参加者900人)で防災・減災をPRした方が効果的だということで、参加を申し込んだ。

開催時間は9時~15時30分、会場は上今泉コミセンと外側の公園と道路。消防も参加するので、その近くに災ボラ用のテントを確保してもらった(机2、椅子4)。展示と説明は、食糧と水の備蓄、災害時トイレの使い方、家具の固定など、「最近の災害のパネル展示」、「感震ブレーカー設置のPR」が星野さんから提案された。プロジェクトリーダーは福田。11月10日(土) 実行委員会には福田が参加。

### ④ 12月2日(日) 海老名コーポラスの自主防災訓練

12月2日(日) 午前中に海老名コーポラス管理組合の自主防災訓練が実施される。昨年、災ボラは初めて参加した。今年の訓練では、「災害時のトイレの使い方」+α(三角テントづくり)が小澤さんから提案されている。③と④の災ボラの参加者を分けなければならないので、課目も含めて検討する。

## (2) 11月24日(土) 体験型講座：防災減災対応訓練 10時~12時(一般参加者)

主催：海老名災ボラ、後援：海老名市社協、会場：総合福祉会館、第1~第3娯楽室(1階)

災ボラ会員は、9時(準備)~13時(片付け)となります。体験課目：水と食糧の備蓄、災害時のトイレの使い方、家具類の転倒防止、災害時の明かりなど、従来から実施してきたものに、何かをプラスするか持含めて、検討する(10月の災ボラ定例会)

## (3) 11月25日(日) 第9回「海老名農業まつり」への参加

9月11日に代表(福田)がJAさがみ内の「農業まつり実行委員会」事務局と交渉した結果、「JA共催」の場所と「災ボラ」の場所を入れ替える(人の動線に近づく)配置の変更提案を事務局から9月19日の実行委員会に提案してもらうことで妥結した。その前提として、災ボラの参加の企画書を遅くとも9月18日までには提出することになった。

## (4) 12月8日(土)「災害図上訓練(DIG)」、防災マップ作り、10時~12時(一般参加者)

主催：海老名災ボラ：後援：海老名市社協、会場：総合福祉会館第1~第2会議室(2階)

当初案の12月9日は「ふれあい交流会」(社協やボラ連の参加が多い)と重複したので、講師の中村さんと調整の上、8日(土)に決定した。訓練の詳細については講師の中村さんに一任した。

☆上記の体験講座及び災害図上訓練については、「広報えびな」市民のひろば欄(11月15日発行)で宣伝する(すでに現行提出済)。また、海老名災ボラのホームページでのPR、12月発行の「海老名災ボラネットワークだより」、これまでに培った各種団体とのつながりを活用した口コミなどで、多くの市民の参加を獲得したい。会員の皆さんの努力をよろしくお願いします。